

ペルーアマゾンにおける気候変動緩和のための森林湿地生態系の自然資源管理能力強化プロジェクト

プロジェクト・ニュース（2022年12月）

タイトル：地方政府における森林モニタリングの現状

プロジェクト一般概要：<https://www.jica.go.jp/project/peru/008/outline/index.html>

森林保全を目的とした本プロジェクトおよび先行プロジェクト¹は、これまで、相手国側のプロジェクト実施機関（カウンターパート：C/P）である農村・灌漑開発省（MIDAGRI）森林野生動物庁（SERFOR）や環境省（MINAM）森林保全国家プログラム（PNCB）といった中央政府の機関を主な対象として活動を行ってきた。PNCB が開発・運用する森林モニタリングシステム（GeoBosques）²や、先行プロジェクトが開発支援し SERFOR が提供する国家森林野生生物情報システム（SNIFFS）³によって、森林伐採や火災の情報が公開されている。これらは中央政府のみならず州政府でも活用されているが、活用、ここから得られる情報に基づく違法伐採管理等などの取り組みの程度は州政府によって大きく異なる。

そこで、各州政府の森林モニタリングに関する技術レベルや取り組み内容、人員体制を把握、本プロジェクトで具体的にどのような支援活動ができるかを考えるため、州政府職員に対して聞き取り調査を実施した。州政府は森林資源の最前線にあるため、この職員が使いやすい森林モニタリングシステムの構築は非常に重要である。

聞き取り調査の結果、衛星画像等を利用し森林モニタリングを行っているが、①ベースマップが古い、②インターネット速度が遅い、また、③人員不足、といった課題が明らかになった。これらに対し、プロジェクトでは、少ない人員を考慮、より重要な森林伐採を選定する機能、インターネットが遅くても使えるような構造などの導入を目指していく。なお、本調査に対する州政府の姿勢は非常に積極的であり、これは期待の大きさでもある。今後も州政府とのコミュニケーション継続、現場の実情に即したモニタリングシステムの構築を目指す。



ウカヤリ州政府への聞き取り



サンマルティン州政府への聞き取り

¹ JICA とペルー国環境省（MINAM）、農村灌漑開発省（MIDAGRI）森林野生動物庁（Servicio Nacional Forestal y de Fauna Silvestre : SERFOR）は、2016年から2021年まで「森林保全及びREDD+メカニズム能力強化プロジェクト」を実施し、1) 浸水林や乾燥林マッピング技術や2) 森林モニタリングシステムの開発、3) 州やコミュニティの違法森林伐採取り締まり体制の強化などを支援した。

² ペルー・アマゾンの森林減少に関する情報を提供するシステム <https://geobosques.minam.gob.pe/geobosque/view/index.php>

³ ペルー国内の森林減少、火災、生態系への影響などの情報を提供 <https://sniffs.serfor.gob.pe/monitoreo/si/#close>